

■ 施策評価シート

		まちづくりの基本方針	「人」が輝くまちへ
		分野	市民文化
		基本方針	9. 市民文化の醸成
施策番号	5-01-①		
施策名	“ふるさと草津の心(シビック・プライド)”の醸成		

施策の概要

本市の魅力資源を、市民の生活やまちづくりのテーマに生かして、市民のまちづくりへの参画と市民としての自負へと結びつけます。

成果指標(単位)	草津市に住み続けたいと思う市民の割合(%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	74	77	78
実績値	72.1	76.5	79.2	75.0

成果指標実績に対するコメント

平成27年度までは順調に上昇しているが、平成28年度においては、「そう思う」「ややそう思う」との回答の内、平成27年比で、「ややそう思う」が微増なのに対して、「そう思う」が約5.1ポイント減少し、全体としても4.2ポイント下落したが、シティセールスを開始した平成25年度当初と比べ、高い水準を維持できている。

施策の達成度評価

「草津市シティセールスアクションプランH28年度版」を策定し、重点アクションに取り組んだ。具体例として、たび丸PR活動における学園祭や成人式出演などの戦略的派遣、ふるさと寄附における交通広告(都営バス)を新規開始、KUSATSU BOOSTERSからの寄附物品の新規取扱など、シティセールスの効果向上に努めた。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方

平成29年度からはアクションプランの重点事業それぞれに数値目標を設定し、それらの達成を目指すことで、成果の程度や実績を見える化している。さらに、組織体制の強化を図り、積極的な魅力発信に努める。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

--

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
シティセールス推進事業	広報課	○	ふるさと寄附における交通広告(都営バス)の新規開始やKUSATSU BOOSTERSからの寄附物品の新規取扱など、新たな取組を実施することができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
ふるさと寄附運営事業	広報課

成果達成度の表示について
 ◎ 期待を超える成果があった
 ○ 期待どおりの成果があった
 △ 期待未満の成果であった
 ※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート

		まちづくりの基本方針	「人」が輝くまちへ
		分野	市民文化
		基本方針	9. 市民文化の醸成
施策番号	5-01-②		
施策名	文化・芸術の振興		

施策の概要

市民の創作活動を奨励するとともに、多様な発表・展示・鑑賞の場の充実、文化・芸術振興に繋がるイベントの開催を通じて、文化芸術活動の振興を図ります。

成果指標(単位)	市民美術展覧会の出品者数・観覧者数(人)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	2,100	2,200	2,300
実績値	2,053	2,143	2,273	1,793

成果指標実績に対するコメント

市美術展覧会は、平成28年度に第54回を迎え、長きにわたり草津市民に文化芸術に親しんでいただける場を提供してきた。平成28年度については、前年度に比べ、出品者が増加したものの、観覧者が減少した。観覧者の高齢化や事業のマンネリ化が進んでいることが原因と考えられる。

施策の達成度評価

平成28年度については、市美術展覧会や、市民音楽祭、市民文化祭等を開催し、市民が気軽に文化芸術に親しむことのできる場を提供した。また、くさつ市民アート・フェスタでは、次世代を担う子どもを対象に、ワークショップを中心とした参加型のブースを多数出展し、市民が文化に触れるきっかけづくりを行った。市美術展覧会については、長期的に見ると、観覧者、出品者ともに高齢化、減少傾向にあり、課題と考えていることから、改善について検討を行う必要がある。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方

(仮称)草津市文化振興計画に基づいた取り組みを進めるとともに、文化振興事業の見直しおよび拡大を図る必要がある。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

平成27年5月22日に、国において文化芸術の振興に関する基本的な方針(第4次)が閣議決定された。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
市美術展覧会開催事業	生涯学習課	△	出品者数は増加したものの、観覧者数が減少した。
市民文化芸術活動支援事業	生涯学習課	○	市民文化祭、市民音楽祭、市民アート・フェスタ等を通じて、市民と協働での事業展開を図ることができた。
俳句のまちづくり事業	生涯学習課	○	俳句入門講座などを開催する中で、多くの市民が参加され、俳句の仲間づくりから新たな句会ができた。
アミカホール管理運営事業	生涯学習課	○	文化活動の拠点施設として、日頃の練習、発表の場を提供するとともに、指定管理者による多様な文化事業の展開を図った。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
クリアホール管理運営事業	生涯学習課

成果達成度の表示について
 ◎ 期待を超える成果があった
 ○ 期待どおりの成果があった
 △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

		まちづくりの基本方針	「人」が輝くまちへ
		分野	市民文化
		基本方針	10. 歴史資産の保全と活用
施策番号	5-02-①		
施策名	文化財調査の推進		

施策の概要

発掘調査をはじめとした各種の文化財調査を推進するとともに、市内に残る歴史資産の実態を解明し、その成果を公表します。

成果指標(単位)	年度毎発掘調査終了面積／埋蔵文化財包蔵地全体面積(%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	14.8	15.3	15.7
実績値	14.5	15.6	16.3	16.9

成果指標実績に対するコメント

発掘調査終了面積は、前年度より0.6%上昇した。
個人住宅建設および民間開発に係る発掘調査を確実に終了することができた。

施策の達成度評価

南草津プリムタウン土地区画整理事業に伴う大規模発掘調査について、滋賀県教育委員会へ調査協力を求めるとともに、関係者との調整を綿密に行った。また、他の民間開発に伴う発掘調査および個人住宅建設に伴う発掘調査について、事業計画の早期把握および関係者との調整に努めた。今後も上記した大規模発掘調査が継続して進められることから、事業の円滑な執行が図れるよう関係者および関係機関との調整に努めていく必要がある。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方

今後は、埋蔵文化財を含めた市内の文化財全般の保護が図られるよう、各種調査の推進と成果の公表に努めるとともに、調査成果に基づく文化財指定や指定文化財の伝承者への支援を行う。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

南草津プリムタウン土地区画整理事業に伴う大規模発掘調査を本格的に実施したことによる。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
埋蔵文化財発掘調査事業	文化財保護課	○	個人住宅建設等に係る発掘調査、各種開発に伴う試掘調査を確実に終了できた。
宅地開発等関連遺跡発掘調査事業	文化財保護課	○	計画どおり発掘調査等を確実に終了できた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
未指定文化財調査事業	文化財保護課

成果達成度の表示について
 ◎ 期待を超える成果があった
 ○ 期待どおりの成果があった
 △ 期待未満の成果であった
 ※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート

		まちづくりの基本方針	「人」が輝くまちへ
		分野	市民文化
		基本方針	10. 歴史資産の保全と活用
施策番号	5-02-②		
施策名	文化財の保全と継承		

施策の概要

市内に残る文化財、伝統芸能等の将来への保全継承のため、国指定史跡等の地域と一体となった保存整備、文化財指定の推進、伝承者への支援など積極的な保存対策を講じます。

成果指標(単位)	市民意識調査の歴史資産の保全と活用に係る満足度評価(%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	28.0	29.0	30.0
実績値	27.3	33.2	27.4	47.8

成果指標実績に対するコメント

市民の歴史資産の保全と活用について、市民のほぼ半数から評価を受けることができた。史跡草津宿本陣保存整備をはじめ、文化財保護助成に対する取組み等が評価されたものと考えられる。

施策の達成度評価

史跡草津宿本陣保存整備に係り土蔵2・4の保存修理工事を継続して実施し、土蔵4の保存修理を終えることができた。また、文化財所有者等に対し管理費の助成を行い、指定文化財の保全と活用を図ることができた。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方

史跡草津宿本陣公開建物の耐震調査を実施し、調査結果を反映させた第3次史跡草津宿本陣保存活用計画を策定する。併せて史跡草津宿本陣の公開方法等について所有者と調整を図る。
史跡芦浦観音寺跡の環境整備事業を進め、史跡の良好な環境の創出に努めるとともに、史跡保存活用計画の策定ならびに整備に向けた所有者との意見調整を図ることとする。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

保存整備の推進により、市民の本陣内の整備が可視的に理解されるようになってきたこと、指定文化財管理者等への意見聴取により、適正な補助金を交付したことなどが、実績評価に表れたと思われる。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
史跡草津宿本陣整備事業	文化財保護課	○	計画どおり、土蔵2・4保存修理工事を進めることができた。
文化財保護助成事業	文化財保護課	○	助成により、指定文化財の適切な保護等を図ることができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
史跡野路小野山製鉄遺跡整備事業	文化財保護課
文化財保護審議会運営事業	文化財保護課
文化財保護推進事業	文化財保護課
史跡芦浦観音寺整備事業	文化財保護課

成果達成度の表示について
 ◎ 期待を超える成果があった
 ○ 期待どおりの成果があった
 △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

		まちづくりの基本方針	「人」が輝くまちへ
		分野	市民文化
		基本方針	10. 歴史資産の保全と活用
施策番号	5-02-③		
施策名	歴史資産を生かしたまちづくり		

施策の概要

各種文化財等の積極的な活用を推進するとともに、各種展示会、行事等を通じた様々な情報発信を行い、歴史文化の香りあふれた魅力あるまちづくりを進めます。

成果指標(単位)	史跡草津宿本陣・草津宿街道交流館が主催する講座等の参加率(%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	100	100	100
実績値	89.5	82.3	69.7	71.0

成果指標実績に対するコメント

本陣楽座定期公演のうち、好評の落語を継続する一方、平成27年度の能囃子に変え平成28年度には和楽器実演を行い、伝統文化に親しむ機会を決定したが、十分な集客を得ることができなかった。

施策の達成度評価

本陣楽座定期公演のうちの落語や、草津宿街道交流館の歴史発見塾は定評があり一定の集客を得て、歴史文化を啓発する効果が得られたが、参加率の低い事業については、テーマ設定や情報発信の方法を再点検する必要がある。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方

本陣楽座定期公演は、公演内容を人気定着した落語に絞って実施し、さらに多くの人に歴史文化に親しむ機会を提供する一方、東海道宿駅会議と連携したトークイベントを開催し、裾野の拡大に努める。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
史跡草津宿本陣管理事業	草津宿街道交流館	○	目標としていた両館の入館者数31,200人を達成した。
草津宿街道交流館管理運営事業	草津宿街道交流館	○	目標としていた両館の入館者数31,200人を達成した。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
(仮称)歴史伝統館整備推進事業	文化財保護課
文化財普及啓発事業	文化財保護課

成果達成度の表示について
 ◎ 期待を超える成果があった
 ○ 期待どおりの成果があった
 △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。